

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所シンフォニー		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 8日		~ R7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		~ R7年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との情報共有 保護者全員がLine登録してくださっているので、保護者と様々な情報をタイムリーに共有でき、支援やコミュニケーションにしっかり活用することができています。	Lineを活用することで、月毎の予定表なども紙ベースだけでなく、Line上にも予定表を各々にアップしています。利用日の変更や時間の変更などもLine上にやり取りを残すことで、誤解や行き違いを予防するように努めています。	医療的ケアがあるお子さんや発作のあるお子さんが多く、Lineの動画でご自宅や他事業所での様子を共有したり、何かあればビデオ通話にて、お子さんの様子や状態を保護者に見ていただきながら対応することができるよう活用していきます。また、食事の食べさせ方でも同様に活用していきます。
2	・SNSの活用 本社に広報部があり会社全体でもSNSの取り組みが盛んであります。保護者だけに限らず多くの方々にシンフォニーの取り組みを知っていただけるようSNSにて発信を行っています。	インスタを活用し、日々の活動や子どもたちの様子だけでなく、スタッフの関わる様子も含めほぼ毎日アップしています。インスタを活用していることでお子さんの様子を動画でも見てもらえるようにしています。	インスタを通して福祉ネイルや訪問美容師、ボランティアバンドなどからDMもいただくこともあり、なかなか外出ができないお子さんの生活や活動の充実させるようつなげていきます。また今後地域交流などに向けても活用していきます。
3	・施設的环境 母体が建設会社で建物の設計段階から関わっていたこともあり、天井が高い平屋造りで、バリアフリーの広く開放的な空間となっています。	児発のお子さんたちは、もともとベッドなど仰臥位で過ごす時間も多いため、眩しくないように間接照明にしています。またてんかんのお子さんが、光刺激で発作を誘発しないようにも配慮しています。	天井の高い空間を活用し、仰臥位で過ごす時間が多いお子さんも視覚的に楽しめるよう、制作物や掲示物を吊り下げて配置したり、クリスマスツリーもあえて天井に飾るなどしています。また低い位置からだけでなく、抱きかかえるなどして高い位置からも見ることで違った見え方もできるようにしております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流、家族交流 なかなか機会をつくることができず、地域交流ができていません。同じように家族交流についても、送迎時のやりとりはあるものの、保護者や兄弟児を施設に来てもらうような機会もなかなかつくりできていません。	コロナ以降、重心のお子さんへの感染対策等を考えるとなかなか機会をつくれませんでした。家族交流についても同様で、感染対策がプレーキとなっています。	以前実施出来た施設の祭りなどイベントを開催することで、地域の方々や家族を施設に招き交流できるようにしていきたいです。
2	・外出機会を増やす 外出についても、普段なかなか出かける機会が少ないお子さんたちなので、機会を増やしたいのですが、医ケア児が増えている中、看護師の配置などを考えると、今以上に増やす難しさを感じています。	実際にお店で買い物の様子を体験したり、普段見られない季節の花を見たり、いろいろな経験を増やす機会づくりは続けていきたいです。ただし、外出時は看護師を配置するなど、職員配置を増やす必要があるかと思われます。	今以上の看護師の増員が必要かと考えています。その他の活動でもより余裕を持ち、安全を確保できるよう、看護師以外の職員配置も厚くしていくことが必要かと考えています。
3	・医ケア対応の充実 現在でも医ケア児の対応に看護師を配置していますが、医ケア児がより増えるとなますます看護師の負担が増えてしまいます。今のままだと、新規の医ケア児の利用がなかなかできない状況が続いてしまいます。	医ケア児の問い合わせは増加しており、受け入れていくためには看護師の増員は必要です。また医ケア自体は看護師がするしかないですが、他職員も協力しながらチームとして対応していく必要性は感じています。	看護師の増員は必要です。保育士や機能訓練士など他職員もチームとして医ケア児に対応していく体制づくりが必要で、また、相談員さんや他事業所との連携も、利用を上手に振り分けるなど必要になるかと思われます。